

# 看護学研究科博士前期課程

## 1 授業科目・単位

教育課程等の概要													
(看護学研究科看護学専攻(M) リサーチコース)													
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			年次配置				備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	前期	夏季集中	後期	春季集中	
共通科目	看護学研究方法論Ⅰ(研究過程と研究方法の理解)	1前		2		○			○				※演習 共同
	看護学研究方法論Ⅱ(研究批評と研究成果の活用)	1後		2		○					○		※演習 オムニバス
	専門職教育展開論Ⅰ(カリキュラム編成の基礎)	1前		2			○		○				※講義 共同
	専門職教育展開論Ⅱ(カリキュラム編成の実際)	1後		2			○				○		共同
	研究と倫理	1前		2		○				○			※演習 集中 オムニバス
	教育と倫理	1後		2		○						○	※演習 集中 オムニバス
	看護政策管理論	1前		2		○			○				※演習
	診療放射線学特論	1前			2		○			○			兼2 集中
	研究方法論と基礎統計学	1前			2		○		○				兼1
	放射線画像解剖学特論	1前			2		○		○				兼2 共同
	放射線学シミュレータ特論	1前			2		○		○				兼2 共同
	保健医療特論	1後			2		○				○		兼2 オムニバス
	保健医療安全学特論	1後			2		○				○		兼2 共同
小計(13科目)	—	0	14	12	—	—	—	—	—	—	—	兼10 —	
専門科目	実践看護学構築論Ⅰ(看護理論と看護実践)	1前		2			○		○				※講義
	実践看護学構築論Ⅱ(看護学の革新と看護研究)	1後		2			○				○		
	看護学演習(実践看護学展開論)	1通		8			○		○				
	小計(3科目)	—	0	12	0	—	—	—	—	—	—	—	0 —
	看護教育学Ⅰ(看護教育学の基礎知識)	1前		2			○		○				※講義 オムニバス
看護教育学Ⅱ(看護学教育を支える理論と知識)	1後		2			○				○			
看護学演習(看護教育学研究)	1通		8			○		○					
小計(3科目)	—	0	12	0	—	—	—	—	—	—	—	0 —	
特別研究	特別研究	1~2通	12				○		○				
小計(1科目)	—	12	0	0	—	—	—	—	—	—	—	0 —	
合計(20科目)		—	12	38	12	—	—	—	—	—	—	—	兼10 —
学位又は称号		修士(看護学)			学位又は学科の分野			保健衛生学関係					
卒業要件及び履修方法							授業期間等						
(修了要件) 本研究科に2年以上在籍し、所定の単位(32単位以上)を修得すると共に必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験(口頭試験)に合格しなければならない。  (履修方法) (1)実践看護学領域・看護教育学領域のいずれかを主専攻とする。 (2)主専攻に関連する3科目12単位を必修科目として履修する。 (3)特別研究12単位を必修科目として履修する。 (4)(2)(3)以外の科目8単位を選択科目として履修する。 (5)自由科目を履修できるが修了要件としての単位数には加算しない。  (履修科目の登録の上限) 1年間に24単位とする。ただし、集中講義として開講する授業科目及び特別研究はこのなかを含めない。							1学年の学期区分		2期				
							1学期の授業期間		15週				
							1時限の授業時間		90分				

教育課程等の概要

(看護学研究科看護学専攻(M) キャリア開発コース:(看護管理者キャリア開発)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					科目履修	備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	看護学研究方法論Ⅰ(研究過程と研究方法の理解)	1前		2		○								○	※演習 共同	
	看護学研究方法論Ⅱ(研究批評と研究成果の活用)	1後		2		○								○	※演習 オムニバス	
	専門職教育展開論Ⅰ(カリキュラム編成の基礎)	1前		2			○							○	※講義 共同	
	専門職教育展開論Ⅱ(カリキュラム編成の実際)	1後		2			○							○	※講義 共同	
	研究と倫理	1前		2		○								○	※演習 集中 オムニバス	
	教育と倫理	1後		2		○								○	※演習 集中 オムニバス	
	看護政策管理論	1前	2				○							○	※演習	
	診療放射線学特論	1・2前			2		○							○	兼1 集中	
	研究方法論と基礎統計学	1・2前			2		○							○	兼1	
	放射線画像解剖学特論	1・2前			2		○							○	兼1	
	放射線学シュミレータ特論	1・2後			2		○							○	兼2 共同	
	保健医療特論	1・2後			2		○							○	兼2 オムニバス	
	保健医療安全学特論	1・2後			2		○							○	兼2 共同	
小計(13科目)	—	2	12	12		—								兼8	—	
専門科目	実践看護学	実践看護学構築論Ⅰ(看護理論と看護実践)	1前	2			○							○	※講義	
		実践看護学構築論Ⅱ(看護学の革新と看護研究)	1後		2		○							○		
		看護学演習(看護実践学展開論)	1通		8			○								
		看護政策管理学展開論Ⅰ(基礎知識と理論)	1・2前	4				○							○	※演習
		看護政策管理学展開論Ⅱ(看護学の革新と看護研究)	1後	2				○							○	※演習
		看護政策管理学展開論Ⅲ(課題発見実習)	2通	4					○							※演習・実習
	小計(6科目)	—	12	10	0		—								—	
看護教育学	看護教育学Ⅰ(看護教育学の基礎知識)	1前		2			○							○	※講義 オムニバス	
	看護教育学Ⅱ(看護教育学を支える理論と知識)	1後		2			○							○	オムニバス	
	教育実践演習Ⅰ	1前		2			○								(昼間開講)	
	教育実践演習Ⅱ	1後		4			○								(昼間開講)	
	課題発見実習	1~2通		4				○								
小計(5科目)	—	0	14	0		—								—		
課題研究	課題研究	1~2通	12				○								—	
	小計(1科目)	—	12	0	0		—								兼8	
合計(25科目)			26	22	12											
学位又は称号	修士(看護学)		学位又は学科の分野			保健衛生学関係(看護学関係)										
卒業要件及び履修方法									授業期間等							
(修了要件) 本研究科に2年以上在籍し、所定の単位(32単位以上)を修得するとともに必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験(口頭試問)に合格しなければならない。 (履修方法) (1) 実践看護学領域を主専攻とする。 (2) 主専攻に関連する4科目12単位を必修科目として履修する。 (3) 共通科目の「看護政策管理論」2単位を必修科目として履修する。 (4) 課題研究12単位を必修科目として履修する。 (5) (2)(3)(4)以外の科目6単位以上を選択科目として履修する。 (6) 自由科目を履修できるが修了要件としての単位数には加算しない。 (履修科目の登録の上限) 1年間に24単位とする。ただし、集中講義として開講する授業科目及び課題研究はこのなか含まない。									1 学年の学期区分	2 期						
									1 学期の授業期間	1 5 週						
									1 時限の授業時間	9 0 分						

教育課程等の概要

(看護学研究科看護学専攻(M) キャリア開発コース:(コミュニティ看護実践者キャリア開発))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					科目履修	備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	看護学研究方法論Ⅰ(研究過程と研究方法の理解)	1前		2		○								○	*演習 *共同	
	看護学研究方法論Ⅱ(研究批評と研究成果の活用)	1後		2		○								○	*演習 *オムニバス	
	専門職教育展開論Ⅰ(カリキュラム編成の基礎)	1前		2			○							○	*講義 *共同	
	専門職教育展開論Ⅱ(カリキュラム編成の実際)	1後		2			○							○	*共同	
	研究と倫理	1前		2		○								○	*演習 *集中 *オムニバス	
	教育と倫理	1後		2		○								○	*演習 *集中 *オムニバス	
	看護政策管理論	1前		2		○								○	*演習	
	診療放射線学特論	1・2前			2		○							○	兼1 *集中	
	研究方法論と基礎統計学	1・2前			2		○							○	兼1	
	放射線画像解剖学特論	1・2前			2		○							○	兼1	
	放射線学シミュレータ特論	1・2後			2		○							○	兼2 *共同	
	保健医療特論	1・2後			2		○							○	兼2 *オムニバス	
	保健医療安全学特論	1・2後			2		○							○	兼2 *共同	
小計(13科目)	—		14	12		—								兼8	—	
専門科目	実践看護学	実践看護学構築論Ⅰ(看護理論と看護実践)	1前		2			○						○	*講義	
		実践看護学構築論Ⅱ(看護学の革新と看護研究)	1後		2			○						○		
		看護学演習(実践看護学展開論)	1通		8			○							○	
		コミュニティ看護実践論	1前		2			○							○	*講義・演習
		コミュニティ看護展開論Ⅰ(課題発見と実践計画)	1通		4			○								*演習・実習
		コミュニティ看護展開論Ⅱ(課題解決)	2通		4			○								*演習・実習
		コミュニティ看護展開論Ⅲ(データ分析方法論)	1~2通		4			○								*演習
小計(7科目)	—		14	12	0	—									—	
専門科目	看護教育学	看護教育学Ⅰ(看護教育学の基礎知識)	1前		2			○						○	*講義 *オムニバス	
		看護教育学Ⅱ(看護教育学を支える理論と知識)	1後		2			○						○	*オムニバス	
		教育実践演習Ⅰ	1前		2			○								(昼間開講)
		教育実践演習Ⅱ	1後		4			○								(昼間開講)
		課題発見実習	1~2通		4				○							
小計(5科目)	—		0	14	0	—									—	
課題研究	課題研究	1~2通		12				○								
	小計(1科目)	—		12	0	0	—									—
合計(26科目)		—		26	26	12	—								兼8	—
学位又は称号		修士(看護学)			学位又は学科の分野			保健衛生学関係(看護学関係)								
卒業要件及び履修方法							授業期間等									
(修了要件) 本研究科に2年以上在籍し、所定の単位(32単位以上)を修得するとともに必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験(口頭試問)に合格しなければならない。 (履修方法) (1) 実践看護学領域を主専攻とする。 (2) 専門科目の「コミュニティ看護実践論」2単位、「コミュニティ看護展開論Ⅰ(課題発見と実践計画)」4単位、「コミュニティ看護展開論Ⅱ(課題解決)」4単位、「コミュニティ看護展開論Ⅲ(データ分析方法論)」4単位の計14単位を必修科目として履修する。 (3) 課題研究12単位を必修科目として履修する。 (4) (2)(3)以外の科目6単位以上を選択科目として履修する。 (5) 自由科目を履修できるが修了要件としての単位数には加算しない。 (履修科目の登録の上限) 1年間に24単位とする。ただし、集中講義として開講する授業科目及び課題研究はこのなかに含まれない。							1学年の学期区分	2期								
							1学期の授業期間	15週								
							1時限の授業時間	90分								

**教育課程等の概要**  
(看護学研究科看護学専攻(M) キャリア開発コース:看護学教員キャリア開発)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					科目履修	備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	看護学研究方法論Ⅰ(研究過程と研究方法の理解)	1前		2		○								○	※演習 ■共同	
	看護学研究方法論Ⅱ(研究批評と研究成果の活用)	1後		2		○								○	※演習 ■オムニバス	
	専門職教育展開論Ⅰ(カリキュラム編成の基礎)	1前		2			○							○	※講義 ■共同	
	専門職教育展開論Ⅱ(カリキュラム編成の実際)	1後		2			○							○	■共同	
	研究と倫理	1前		2		○								○	※演習 ■集中	
	教育と倫理	1後		2		○								○	■オムニバス ■集中	
	看護政策管理論	1前		2		○								○	■オムニバス ※演習	
	診療放射線学特論	1・2前			2		○							○	兼■集中	
	研究方法論と基礎統計学	1・2前			2		○							○	兼■	
	放射線画像解剖学特論	1・2前			2		○							○	兼■	
	放射線学シミュレータ特論	1・2前			2		○							○	兼2■共同	
	保健医療特論	1・2後			2		○							○	兼2■オムニバス	
	保健医療安全学特論	1・2後			2		○							○	兼2■共同	
	小計(13科目)	—	0	14	12		—							兼■	—	
実践看護学	実践看護学構築論Ⅰ(看護理論と看護実践)	1前		2			○							○	※講義	
	実践看護学構築論Ⅱ(看護学の革新と看護研究)	1後		2			○							○		
	看護学演習(実践看護学展開論)	1通		8			○									
	小計(3科目)	—	0	12	0		—								—	
	看護教育学	看護教育学Ⅰ(看護教育学の基礎知識)	1前		2			○							○	※講義 ■オムニバス
		看護教育学Ⅱ(看護教育学を支える理論と知識)	1後		2			○							○	■オムニバス
教育実践演習Ⅰ		1前		2			○								(昼間開講)	
教育実践演習Ⅱ		1後		4			○								(昼間開講)	
課題発見実習		1~2通		4				○								
課題研究	課題研究	1~2通		12				○								
	小計(1科目)	—		12	0	0		—							—	
合計(22科目)		—	26	26	12		—							兼■	—	
学位又は称号	修士(看護学)	学位又は学科の分野			保健衛生学関係(看護学関係)											
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
(修了要件) 本研究科に2年以上在籍し、所定の単位(32単位以上)を修得するとともに必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験(口頭試問)に合格しなければならない。 (履修方法) (1) 看護教育学領域を主専攻とする。 (2) 主専攻に関連する5科目14単位を必修科目として履修する。 (3) 課題研究12単位を必修科目として履修する。 (4) (2)(3)以外の科目6単位を選択科目として履修する。 (5) 自由科目を履修できるが修了要件としての単位数には加算しない。 (履修科目の登録の上限) 1年間に24単位とする。ただし、集中講義として開講する授業科目及び課題研究はこのなかを含めない。								1学年の学期区分	2期							
								1学期の授業期間	15週							
								1時限の授業時間	90分							

**講習会修了要件充足科目**

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					科目履修	備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	情報と教育	1前			2		○								(昼間開講)
	教育の原理と環境	1前			2		○								(昼間開講)
	看護の本質と専門性	1前			2		○								(昼間開講)
	看護学教育課程論Ⅰ(カリキュラム編成の基礎)	1前			2		○								(昼間開講)
	看護学教育課程論Ⅱ(カリキュラム構造の理解)	1前			2		○								(昼間開講)
	看護学教育課程演習	1通			4		○								(昼間開講)
	看護学教育評価演習	1通			2		○								(昼間開講)
	教育への研究成果活用	1後			2		○								(昼間開講)
	教育組織運営への参画	1後			1		○								(昼間開講)
	小計(9科目)	—		2	19										

注) 講習会修了要件充足科目の単位数は修了要件としての単位数には加算しない。また、履修科目の登録の上限である1年間24単位のなかこれを含まない。